

2014 年 10 月 09 日

関係大学院研究科長 殿
関係大学（学部）長 殿
関係機関長 殿

日本大学文理学部
学部長 加藤 直人

専任教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますます清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび本学部国文学科では、下記の要領により専任教員を公募することになりました。つきましては、貴学（貴機関）関係者の方々にご周知いただき、適任者の応募についてご高配を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 機関名：日本大学文理学部
2. 職種：教授・准教授または助教
※助教は任期制（1期3年 再任2回・通算9年を超えて任用することはできない
再任時資格審査有）
3. 採用人数：1人
4. 所属：日本大学文理学部国文学科
5. 専門分野：日本近現代文学
6. 担当科目：「近現代文学特殊講義（大学院）」「近現代文学特殊研究（大学院）」「卒業論文」「特殊研究ゼミナール」「テーマ研究」「基礎演習」「近代文学講義」「現代文学講義」等
7. 応募資格：
 - （1）日本近現代文学の分野で博士号を取得している者（取得予定者も含む）、またはこれと同等以上の研究業績のある者
 - （2）研究・教育・校務等に熱意のある者
 - （3）通勤可能な範囲に居住し、本学規程に基づく勤務が可能な者
8. 給与等：本学給与規程による（教授・准教授：月給制、助教：年俸制）
9. 着任時期：2015（平成27）年04月01日
10. 応募締切：2014（平成26）年11月05日（水） 必着
11. 応募書類：全てA4判とすること
 - （1）履歴書（写真添付）
 - （2）研究教育業績一覧
 - （3）主要業績5点（著書、論文の抜刷またはコピー）ならびにそれぞれの400字程度の要旨
 - （4）大学等における2014（平成26）年度の担当科目一覧

各関係機関長 殿

平成26年（2014年）10月9日

国立大学法人 岡山大学
大学院社会文化科学研究科長
春名章二（公印省略）

ドイツ語教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。
このたび本研究科では、下記の要領にて教員を募集いたします。つきましては、関係者に御周知
いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 採用職種 准教授または講師（国際協力教員）
2. 採用人員 1名
3. 所属講座 社会文化科学研究科 比較社会文化学専攻 欧米言語文化論講座
4. 専門研究分野 ドイツ語学、ドイツ文学、ドイツ文化、外国語としてのドイツ語教育、または日本学
5. 担当予定科目 大学院、学部、教養教育におけるドイツ語関連科目
6. 任期 平成30年（2018年）3月31日まで3年間。ただし、勤務状況により2年間の労働契約の更新が可能である。
7. 応募資格等
 - (1) ドイツ語を母語とする者
 - (2) 修士以上の学位を有する者
 - (3) 採用予定日に着任可能な者
 - (4) 赴任後は岡山市またはその周辺に居住可能である者
 - (5) 大学またはそれと同等の教育機関における教育歴を有する者
 - (6) 日常生活に支障のない日本語能力を有し、ドイツ語教育と国際交流に熱意のある者
8. 応募期限 平成26年（2014年）11月14日（金）必着
9. 採用予定年月日 平成27年（2015年）4月1日
10. 応募書類
 - (1) 履歴書（様式は自由。写真を貼付し、連絡先としてメールアドレスと電話番号を明記のこと）および学位証明書のコピー 各1通
 - (2) 研究業績書 1通（著書、論文、その他に区分して記載し、主要業績3点に○印を付すこと）
 - (3) 主要業績の現物3点につき各4部（別刷又はコピーも可）。各業績に400字程度（日本語）あるいは200語程度（ドイツ語）の要旨を付すこと
 - (4) 本学における教育に対する2000字程度（日本語）または800語程度（ドイツ語）の抱負
 - (5) 問い合わせ可能な推薦者1名の連絡先を明記
11. 応募書類送付先 〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
岡山大学大学院 社会文化科学研究科等 総務グループ庶務担当
（封筒の表に「欧米言語文化論講座ドイツ語教員応募書類」と朱書のうえ、書留便または宅配便で送付のこと）
12. 問い合わせ先 岡山大学大学院 社会文化科学研究科 寺岡 孝憲
Tel : 086-251-7440 E-mail: teraoka@cc.okayama-u.ac.jp
13. その他
 - (1) 必要に応じて面接・模擬授業を行うことがあります。ただし、旅費・宿泊費等の諸経費は応募者の負担とします。海外などの遠隔地の場合は、IT機器を用いた面接に代える場合があります。
 - (2) 応募書類は、原則として返却しません。なお、履歴書等個人情報に属する情報は、今回の選考にのみ使用します。
 - (3) 選考の進捗状況に応じて、提出書類の追加をお願いする場合があります。
 - (4) 岡山大学では、男女共同参画を推進し、女性教員をサポートしています。女性の積極的な応募を歓迎します。

以上

鹿大法文総第395号
平成26年10月15日

各関係大学長
各関係大学学部長
各関係大学院研究科長 殿
各関係機関の長

鹿児島大学法文学部長
平井 一 臣
(公印省略)

教員の公募期間延長について（依頼）

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、本学部では、下記の要領により教員公募の期間を延長することになりました。

つきましては、ご多用中誠に恐縮に存じますが、貴学（研究科、学部）又は関係機関に適任者がございましたら、下記の書類を添えてご応募くださるよう周知方お願い申し上げます。

敬具

記

1. 職名・人員

法文学部人文学科 准教授又は講師 1名

2. 専門分野 考古学

3. 担当授業科目

考古学概説、考古学講義、考古学演習、フィールド学実習・同実験、コース基礎演習、共通教育科目・学芸員資格科目など。（このほか共通教育の情報活用基礎、大学院人文社会科学研究科の授業などを担当する場合があります。）

4. 応募条件

（1）大学院博士前期（修士）課程修了者、又はこれと同等以上の研究業績を有する者。

（2）考古学とともに自然科学的な調査研究の業績を有する者が望ましい。

（3）年齢40歳未満の者（平成27年4月1日現在）

年齢制限の設定は長期勤続によるキャリア形成を図るためのものである（雇用対策法施行規則第一条の三の第一項第三号イ）。

5. 採用予定日 平成27年4月1日

6. 公募締切 平成26年11月27日（木）必着

7. 応募書類

(1) 履歴書（市販の履歴書に自署、写真貼付）

①修士以上の学位を有する者は、取得大学及び取得年月日を明記すること。

②所属学会を明記すること。

③連絡先（電話番号及びE-mailアドレス）を明記すること。

(2) 研究業績リスト

学位論文（修士以上）：①論文題目 ②提出先

著書：①書名 ②総ページ数 ③出版社 ④出版年

（共著の場合は分担標題、分担ページ、共著者名を記入のこと。）

学術論文：①論文題目 ②掲載書誌名 ③巻・号 ④掲載ページ ⑤出版年月

⑥著者名（共著の場合は共著者全員の氏名も記入のこと。） ⑦査読の有無

その他：翻訳、調査報告書など（上記にならない、題目・出版年月など必要事項を記入のこと。）

口頭発表：①題目 ②発表した学会の名称 ③発表年月日（共同発表の場合は共同発表者全員の氏名も記入のこと。ポスター発表はその旨を記入すること。）

(3) 上記の研究業績リストに記載した研究業績のうち、主要なものの別刷り又はコピー（3点）。

(4) 上記（3）の研究業績について、その内容を各々800字以内で要約した説明文一式。

(5) 考古学的調査経歴（実施期間、調査地、調査目的・内容の概要など）

(6) 今後の教育・研究についての抱負（2000字以内）。

※上記（2）（4）（5）（6）の書類はA4横書きで統一してください。

※選考の過程で面接を行う場合があります。（面接のため来学が必要な場合の旅費は応募者の自己負担です。）

※必要に応じて追加の書類・資料の提出を求めることがあります。

※採否の結果は、決定次第、応募者に連絡いたします。

※提出いただいた書類は返却いたしませんので、ご承知おきください。なお、研究上の業績の現物・別刷り・コピーの返却を希望される場合は、宛名を記入した返信用封筒等に切手を貼り、同封してください。

※応募書類は、採用者の選考及び採用後の人事等の手続きを行う目的で利用するものであり、この目的以外で利用することはありません。

8. 応募書類の提出先

〒890-0065 鹿児島市郡元1丁目21番30号

鹿児島大学法文学部長 平井 一臣 宛

※封筒に「考古学担当教員応募書類在中」と朱書きし、書留にて郵送してください。

9. 問い合わせ先

鹿児島大学法文学部人文学科地域環境講座 渡辺芳郎

E-mail: watanabe@leh.kagoshima-u.ac.jp

※本学は、男女共同参画社会基本法に則り、女性研究者支援をはじめとする男女共同参画に係る取組を積極的に推進しており、女性研究者の積極的な採用・登用を行っております。業績・人物評価が同等と認められた場合には、女性を優先的に採用します。なお、女性研究者支援内容の詳細（支援員制度、相談体制等）については、以下のURLをご覧ください。

（鹿児島大学男女共同参画推進室 <http://atsuhime.kuas.kagoshima-u.ac.jp/>）

(印章省略)

平成26年10月15日

関係大学(学部)長
関係大学院研究科長 殿
関係機関長

愛媛大学法文学部長
加藤好文

教員の公募について(依頼)

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学部では、下記要領により地理学担当教員を公募することになりました。つきましては、貴学(貴機関)関係者に御周知いただくとともに、適任者の御推薦についてよろしくお取り計らい下さいますよう、お願い申し上げます。

記

1. 所属学科・講座 人文学科・人文学講座

2. 担当授業科目

- (1) 地理学概論・特講・演習、地域文化実験演習(フィールドワーク)等
- (2) 共通教育科目、大学院科目等

3. 採用職名(人員) 教授または准教授または講師(1名)

*人文学科では、教授及び准教授の任用に際して任期制をとっていませんが、講師の任用に関してはテニユア・トラック制度を導入しています。

愛媛大学では、若手教員の能力を積極的に開発し、教育者・研究者としての自立を促進することを目標として、平成25年7月から「テニユア・トラック制度」を導入しました。

具体的には、新規採用された文系の講師、助教の職については、5年の任期を付し、任期中の最初の3年間で合計100時間の能力開発プログラムの受講を義務化するとともに、任期中の最初の3年間に財政的支援(研究費の配分等)を行います。

テニユア資格(終身雇用)の審査については期間中の2年6月を経過した日から2年9月を経過する日までの3月間の期間内において中間審査を、4年4月を経過した日から4年7月を経過する日までの3月間の期間内において最終審査を実施し、中間審査または最終審査に合格した者をテニユア職に移行させます。不合格となった場合は、5年の任期満了後の任期更新はありません。

4. 応募資格

- (1) 人文地理学を主たる専門領域として教育研究業績を有する者
- (2) 博士の学位を有する者又はそれと同等の研究業績があると認められる者
- (3) フィールドワークの経験を有し、地域貢献に積極的にかかわれる者

5. 採用予定日 平成27年4月1日

6. 応募期限 平成26年11月28日(金) 必着

7. 選考方法

- (1) 第1次 書類審査
- (2) 第2次 面接及び模擬授業

8. 提出書類

- (1) 履歴書（写真貼付，学歴は高等学校卒業以降，電子メールアドレスを記入のこと。）
用紙は市販のものでも可。
- (2) 研究業績一覧（著書，論文，学会発表，研究費獲得状況，地域貢献一覧等に分類し，論文については査読付きのものとその他に分類すること。）
- (3) 主要著書・論文等（掲載予定可）5編の別刷り又はコピーとそれぞれに400字程度の要旨を付けること。
- (4) 応募理由及び研究・教育・社会貢献の抱負（これまで携わってきた研究，教育，社会貢献，その他の職務内容および今後の四国遍路に関する研究計画を含む。A4判用紙を用い，2000字程度。）
- (5) 提出書類を返却希望の場合はその旨を記し，返送先を明記し必要な切手を貼付した封筒を同封すること。なお，提出書類は，選考が終了するまで返却できないので，ご了承下さい。

9. 書類送付先

〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部加藤好文学部長あて
（封筒の表に「地理学担当教員応募書類」と朱書きし，必ず郵便小包（書留）で送付すること。）

10. 照会先

〒790-8577 松山市文京町3番
愛媛大学法文学部人文学科
人事委員会委員長 竹川郁雄
電話 089 (927) 9297
e-mail : takekawa.ikuo.mg@ehime-u.ac.jp

11. その他

選考の過程で，業績の追加提出をお願いすることがあります。また，選考に当たり面接及び模擬授業実施をお願いしますが，旅費，宿泊費等は支給いたしませんので，ご了承下さい。

選考に際しては男女共同参画社会基本法の趣旨にも配慮します。

12. 個人情報について

応募書類に記載された個人情報は，選考及び採用以外の目的には使用しません。なお，最終の選考結果をホームページで公表する際は，「採用候補者の氏名」について公表させていただきますので，あらかじめご了承下さい。

以上

平成 26 年 10 月 24 日

各関係大学（学部・研究科）長 殿
各関係機関の長 殿

富山大学人文学部長
大工原 ちなみ
(公 印 省 略)

教員の公募について（依頼）

拝 啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび本学部では、下記の要領で教員の公募を行うことになりました。つきましては、貴学関係者ならびに関係諸方面へご周知をお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 職名・人員 准教授または講師 1 名
2. 所属講座等 人文学部東アジア言語文化講座（教育研究分野：日本文学）
3. 専門分野 日本近現代文学
4. 担当科目等 教養教育：日本文学 など
学 部：日本文学史、日本文学特殊講義、日本文学演習、日本文学講読、
基礎ゼミナール など
大 学 院：日本文学特論、日本文学特論演習 など
5. 採用予定年月日 平成 27 年 4 月 1 日以降のできるだけ早い時期
6. 応募条件
 - 1) 大学院修士課程修了者またはこれと同等以上の研究業績を有する者
 - 2) 日本文学および関連分野に関する深い見識と業績を有する者
 - 3) 学生指導をはじめ大学教育に熱意を持ち、学内業務に精励できる者
 - 4) 大学院修士課程の授業担当が可能な者
7. 書類提出期限 平成 26 年 12 月 1 日（月）17 時 必着
8. 提出書類
 - 1) 履歴書（3 ヶ月以内に撮影した写真を貼付のこと） 1 部
 - 2) 研究業績リスト（主要研究業績 3 点に○印をつける） 1 部
 - 3) 主要研究業績 3 点もしくはそれらのコピー 各 1 部
 - 4) 主要研究業績 3 点の要旨（A 4 版用紙、各 800 字程度） 各 1 部
 - 5) 着任後本学での教育・研究に関する抱負（2000 字程度） 1 部

* 提出された書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しません。

9. 書類送付先 〒930-8555

富山市五福 3190 富山大学人文学部 学部長 大工原ちなみ

封筒の表に「東アジア言語文化講座教員応募書類」と朱書し、簡易書留郵便または書留郵便で送付のこと。

10. 問い合わせ先 (公募内容等) 富山大学人文学部総務課

電話：076-445-6135

Fax：076-445-6141

(給与関係) 富山大学総務部人事企画課

電話：076-445-6037

11. その他

- 1) 選考で面接を行うことがあります。その場合、面接にともなう旅費等は応募者の負担となります。採否の結果については、決定後速やかに応募者本人に通知します。
- 2) 富山大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

本学では平成 27 年 4 月 1 日から従来の給与制度と併用して、年俸制を導入する予定です。本公募による採用の際にも、採用決定者の同意のもと、年俸制を適用する可能性があります。(同意されない場合は従来の給与制度を適用することとなります。)

なお、詳細につきましては、関係規則等が整備された段階で、情報提供を行います。

以 上

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国立国語研究所 特任助教 募集要項

(ウェブサイト <http://www.ninjal.ac.jp/>)

このたび、国立国語研究所では、理論・構造研究系特任助教を以下のとおり募集する。

1. 募集内容

- (1) 職 名：特任助教（特定有期雇用職員） 1名
- (2) 専門分野：日本語学（中世または近世日本語の語彙、文法、表記）
- (3) 配 属 先：理論・構造研究系
- (4) 職務内容：「表記情報と書誌形態情報を加えた日本語歴史コーパスの精緻化」プロジェクトに関する業務及び研究
※上記プロジェクトは、国文学研究資料館の歴史的典籍に関する大型プロジェクト「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」(<http://www.nijl.ac.jp/pages/cijproject/>)の一部として実施する人間文化研究機構内の共同研究である。
- (5) 採用時期：平成27年4月1日以降、できるだけ早い時期に採用。（採用日については応相談）
- (6) 任 期：研究の進捗状況等を考慮の上、年度ごとに更新する。ただし、採用日にかかわらず平成30年3月31日を超えて更新しない。

2. 勤務条件等

大学共同利用機関人間文化研究機構特定有期雇用職員規程及び同機構の職員就業規則に基づく（以下、条件等）

- ・勤務時間：専門業務型裁量労働制を適用する
- ・休 日：週休2日（土、日）、祝・祭日、年末・年始（12月29日から1月3日まで）
- ・給 与：基本年俸の12分の1の額を基本給として毎月支給
- ・保 険：文部科学省共済及び労働保険に加入

3. 応募資格

以下のすべてを満たす者

- (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有すること。（採用日前日までに学位を取得する者を含む。）
- (2) 日本語史研究、中世・近世の日本語資料（古写本・版本等）研究に関する業績を有すること。
- (3) 言語コーパス・言語データベースの構築・活用に関する経験と強い意欲を有すること。
- (4) 日本語を母語としないものにあつては、業務ならびに学術研究に支障がない程度の高度な日本語能力を有すること。

4. 選考方法

- (1) 第1次選考：書類審査
- (2) 第2次選考：面接審査（書類審査を通過した者に対して、平成27年1月中旬に面接審査を行う。詳細は第1次選考通過者に通知する。なお、海外からの応募者に対しては、面接方法を考慮する。）

5. 提出書類

- (1) 応募申請書（様式第1号）
- (2) 研究者略歴（様式第2号）
- (3) 研究業績表（様式第3号）
- (4) 主要著書、論文（別刷又はコピー）5点以内 各1部
※なお、外国語で書かれた業績には、日本語の概要（A4横書き1枚1,600字以内）を添付。主要著書、論文については、第三者による評価を示すもの（例えば、受賞、書評、被引用件数、教材としての採択件数など）があれば添付する。（コピー可）
- (5) 研究内容（様式第4号）
- (6) 推薦状（2通・様式任意）（厳封のこと）

※ 上記4つの様式（第1～4号）はウェブサイトよりダウンロードすること。

6. 提出締切日

平成26年12月8日（月）必着

7. 書類提出先

書留郵便とし、封筒に「理論・構造研究系特任助教応募書類」と朱記し、提出締切日までに必着のこと。

郵送先住所：〒190-8561 東京都立川市緑町10-2
国立国語研究所 管理部総務課人事係 宛

※なお、提出された書類等は原則として返却しない。

《個人情報の取扱いについて》

本公募に関連して提出された個人情報については、選考の目的に限って利用し、選考終了後は、教員として採用される方の情報を除き、全ての個人情報は責任をもって破棄します。教員として採用される方については、人事、労務、給与関係処理等採用手続き及び研究所内の各種手続きに使用させていただきますので、あらかじめご了承ください。

【本件問合せ先】

研究内容：理論・構造研究系 高田智和

E-mail: ttakada@ninjal.ac.jp

勤務条件等：管理部総務課人事係

Tel: 042-540-4376・4382

各関係大学長・学部長 様

高知県立大学長 南 裕子（公印省略）

教員の公募について（依頼）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学では、下記の要領で教員を公募することになりました。つきましては、貴大学関係者への周知並びに適任者の推薦について、よろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

なお、本学は県立大学として地域貢献を重視していますので、地域文化の向上に熱意のある方を歓迎いたします。

記

1. 職名・人員 准教授または講師 1 名
2. 専門分野 ジェンダー論、英語
3. 配置部署 地域教育研究センター
4. 採用予定日 平成 27 年 4 月 1 日
5. 主たる担当科目（夜間主コースの科目も含みます）
 学部共通教養教育科目：基礎ジェンダー学、ジェンダーとキャリア、英語コミュニケーション
 文化学部専門教育科目：男女共同参画社会論
 大学院科目：ジェンダー論、文化課題研究演習
6. 応募条件 (1) 博士の学位を有する（取得見込みを含む）こと、あるいはそれと同等の能力を有すること。
 (2) 英語コミュニケーションに関する教育実績を有すること。
 (3) 大学院を担当できること。
 (4) 採用後は、高知市又はその近郊に居住できること。

7. 提出書類

- | | |
|--|-------|
| (1) 履歴書（市販のもの：自筆署名押印のうえ写真貼付） | 1 通 |
| (2) 教育研究業績書（所定の様式を使用し、主要な業績 3 点に○印を付すこと） | 1 通 |
| ※様式は http://www.u-kochi.ac.jp/era/koubo/form.doc からダウンロードできます。 | |
| (3) 主要な研究業績 3 点（著書、論文等）の現物又はコピー | 各 1 部 |
| (4) 着任後の研究・教育に対する抱負（1,200 字程度：A4 判 任意様式） | 1 通 |
| (5) 推薦書（提出は任意） | 1 部 |
| (6) 外国籍の方は在留資格、期間を証明する書類 | |

8. 応募締切日 平成 26 年 12 月 19 日（金）（必着）

9. 応募書類提出先

〒781-8515 高知市池 2751-1 高知県公立大学法人 法人経営室 人事担当 宛

（封筒の表に「地域教育研究センター教員応募書類」と朱筆し、簡易書留郵便で送付してください。）

10. 選考方法等 (1) 書類審査のほか、必要に応じて面接（プレゼンテーションを含む）を行います。

面接のための交通費等はご負担いただきます。

(2) 選考結果 選考終了後に文書で本人に通知します。時期は平成 27 年 1 月下旬の予定です。

(3) 応募書類 原則として返却いたしません（著書を除く）。

11. 勤務条件等 講師の場合は任期制（5 年の任期付き採用・再任可）。

12. 問い合わせ先 高知県公立大学法人 法人経営室人事担当

TEL：088-847-8700（代表）、E-mail:houjin@cc.u-kochi.ac.jp

各関係機関の長 殿

長崎大学多文化社会学部長 佐久間 正

長崎大学多文化社会学部教員の公募について

謹啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、長崎大学多文化社会学部では、英語学、言語学、応用言語学及びその関連分野の授業を担当する教員を募集することになりました。

ついては、貴機関の職員への御周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、本学は、男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

敬白

記

1 多文化社会学部について

長崎大学は、人文社会系教育研究領域を新たに導入することによって、総合大学としての基盤を強化し、人文社会系グローバル人材育成という社会の強い要請に応えるために、多文化社会学部を平成26年度に開設しました。多文化社会学部の詳しいコンセプトは、多文化社会学部ホームページ (<http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/>) を御覧ください。

また、人文社会系大学院の設置も構想しています。

2 公募分野

英語学、言語学、応用言語学及びその関連分野

多文化社会学部の専門教育科目を担当していただきますが、専門基礎教育科目及び教養教育科目（外国語英語）も担当していただきます。

3 公募職種

教授又は准教授 1名

※ 長崎大学多文化社会学部は、現在学年進行中であるため、採用が決定した後で、教員資格について大学設置・学校法人審議会による教員資格審査を受審していただく必要があります。

4 応募要件

- (1) 博士の学位（又はこれに準ずる研究業績）を有すること。学位取得見込みの者にあつては、取得予定時期についての説明と主査による証明を添付すること。
- (2) 国際交流を推進する能力と意欲を有すること。
- (3) 大学運営に関する業務を遂行する意思を有すること。

- (4) 日本語が母語でない場合は、日本語で日常業務が遂行できること。
- (5) 英語で授業ができること。

5 着任時期

平成27年10月1日予定

6 提出書類

それぞれ正本1通、写し1通（推薦状又は所見を伺える方の氏名、連絡先は写し不要）を提出してください。様式があるものについては下記 URL からダウンロードして使用してください。

- (1) 履歴書（様式1）
- (2) 業績目録（様式2）
- (3) 著書、学術論文等の別刷・・・・・・主要なもの5編以内（コピー可）
- (4) 外部資金の獲得実績（様式3）
- (5) 教育に関する抱負（様式4）
- (6) 研究計画書（様式5）
- (7) 推薦状又は所見を伺える方の氏名、連絡先（様式任意）・・・・・・2名以内

7 応募締切日

平成26年12月24日（水）17時必着

8 留意事項

- (1) 応募書類は、原則として返却しません。
- (2) 選考過程において、教育研究に関する講演、模擬授業、面接等のために御来学いただくことを予定しております。その際の交通費は、自己負担でお願いします。
- (3) 選考中に他大学等の教員候補者となることを御承諾された場合には、文書で委員長宛御連絡くださるようお願いします。

9 提出先

〒852-8521 長崎市文教町1-14
長崎大学多文化社会学部総務班 宛

※ 提出書類は、封筒の表に「多文化社会学部教員応募書類在中」と朱書きの上、必ず郵便書留等の配達状況が確認できるものにより送付してください。

10 様式ダウンロード用 URL

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/about/info/career/kyoin/index.html>

11 本件に関する問合せ先

長崎大学多文化社会学部総務班
TEL: 095-819-2934 E-mail: hss_soumu@ml.nagasaki-u.ac.jp

記 載 上 の 注 意 事 項

1 履歴書（様式1）

- (1) 「生年月日（年齢）」の欄の年齢には、現時点における満年齢を記入してください。
- (2) 「国籍」の欄には、当該教員が外国籍である場合にのみ国名を記入してください。
- (3) 「学歴」の欄について
 - ① 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴（大学の別科及び専攻科を含む。）を有する場合、すべての学歴（授与された学位及び称号を含む。）を記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。なお、博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。
 - ② 学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。
 - ③ 教員等の資格についても記入してください。この場合、登録番号等も併記してください。外国における資格にあつては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。
 - ④ 学生としての外国の大学や研究機関等への留学籍についても記入してください。
 - ⑤ 外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。
- (4) 「職歴」の欄について
 - ① すべての職歴（自営業、主婦、無職等を含む。）を記入するとともに、職名、地位等についても明記してください。
 - ② 各職歴について在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入してください。
 - ③ 研究者としての外国の大学や研究機関等への赴任歴についても記入してください。
 - ④ 過去における大学設置・学校法人審議会による教員組織審査において教員の資格があると認められた場合には、当該審査に係る時期、大学の名称、職位及び担当授業科目の名称（大学院にあつては、判定結果を含む。）を記入してください。また、過去における高等専門学校の教員資格の認定を受けた場合には、当該認定に係る時期、高等専門学校の名称、職位及び担当授業科目の名称を記入してください。
 - ⑤ 大学教員の職歴については、主な担当授業科目を併記してください。
- (5) 「学会及び社会における活動等」の欄について
 - ① 「現在所属している学会」には、現時点において所属する学会の名称を記入してください。役員等に就いている場合は、役職名を記入してください。
 - ② 学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。
 - ③ 教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入してください。
- (6) 「賞罰」の欄には、学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。
- (7) 「職務の状況」の欄について
 - ① 「現在の職務の状況」
 - ア 現時点における職務の状況について記入してください。
 - イ 「職名」については、大学等の教員の場合は、「教授」、「准教授」等の職位を記入してください。大学以外の職に従事している場合は、「取締役」、「理事」等の職名を記入してください。職名が無い場合は「－」を記入してください。
 - ウ 勤務状況については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入してください。大学以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。
- (8) 「言語能力」の欄について
 - ① 言語能力の熟達度について、下欄の評語の中から該当するものを記入してください。なお、母語については、「母語」と記入してください。
 - ② 資格、免許、試験スコアなどについて、該当するものがある場合は、記入し、その写しを提出してください。
 - ③ 英語、日本語以外で運用力を有する言語がある場合は、空欄に上記の①、②と同じ要領で記入してください。

(9) その他

- ① 6か月以内に撮影した写真を貼付してください。
- ② 連絡先には、電話番号及びメールアドレスを明記してください。

2 業績目録(様式2)

- (1) 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。
- (2) 「著書、学術論文等の名称」の欄について
 - ① 研究等に関連する主要な業績を、「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順(過去→現在)に通し番号を付して記入してください。
 - ② 著書については、書名を記入してください。
 - ③ 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。
 - ④ その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。
 - ⑤ 査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。
- (3) 「単著・共著」の欄には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。
- (4) 「発行又は発表の年月」の欄には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。
- (5) 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の欄について
 - ① 著書については、発行所を記入してください。
 - ② 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。
 - ③ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。
- (6) 「概要」の欄について
 - ① 当該著書等の概要を200字程度で記入してください。
 - ② 当該著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページを記入するとともに、本人の氏名(下線を付すこと。)を含め著作者全員の氏名(多数にわたる場合は主要な共著者の氏名)を当該著書等に記載された順に記入してください。また、本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。

3 著書、学術論文等の別刷

- (1) 著書、学術論文等の別刷について主要なもの5編以内(コピー可)を提出してください。著書については、表紙と分担部分のコピーでも差し支えありません。
- (2) 未印刷の学術論文等については、その原稿又はそのコピーに掲載受理の承諾書を添付してください。
- (3) 別刷は、業績目録(様式2)の番号を別刷に記載の上、順番に並べて提出してください。

4 外部資金の獲得実績(様式3)

- (1) 研究代表者及び研究分担者としての科学研究費、その他の助成金(種類、課題名)の受領状況を記入してください。なお、研究分担者の場合は、分担金が配分されているものに限ります。

5 教育に関する抱負(様式4)

- (1) 教育に関する抱負について、2000字程度にまとめて記入してください。

6 研究計画書(様式5)

- (1) 研究計画について、2000字程度にまとめて記入してください。

7 推薦状又は所見を伺える方の氏名、連絡先(様式任意)

- (1) 所見を伺える方を御紹介くださる場合は、応募者について忌憚のない御意見を伺える方(2名以内)を記載してください。様式は任意ですが、所見を伺える方の連絡先について、次の事項を明記してください。
 - ① 氏名、② 所属・役職、③ 電話番号、④ メールアドレス

履 歴 書				
フリガナ			性別	写真貼付欄
氏 名				
生年月日(年齢)	年 月 日(満 歳)	国籍		
現 住 所	〒			
連絡先(電話番号)				
連絡先(メールアドレス)				
学 歴				
年 月	事 項			
年 月				
年 月				
年 月				
職 歴				
年 月	事 項			
年 月				
年 月				
年 月				
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等				
現在所属している学会				
年 月	事 項			
年 月				
年 月				
賞 罰				
年 月	事 項			
年 月				
年 月				
現 在 の 職 務 の 状 況				
勤 務 先	職名	学部等又は所属部局の名称	勤 務 状 況	
言 語 能 力 (母語を含む)				
言 語	熟達度※	資格, 免許, 試験スコアなど		
英 語				
日 本 語				
※ 初級(Beginning), 中級(Intermediate), 中上級(Advanced Intermediate), 上級(Advanced), 熟達(Proficient), 母語				
上記のとおり相違ありません。				
年 月 日			氏名	印

業 績 目 録				
				年 月 日
				氏名
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書, 学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所, 発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
1				
2				
3				
4				
5				
:				
(学術論文)				
1				
2				
3				
4				
5				
:				
(その他)				
1				
2				
3				
4				
5				
:				

外 部 資 金 の 獲 得 実 績		
年	月	日
氏名		印
研究代表者及び研究分担者（分担金が配分されているものに限る。）としての科学研究費，その他の助成金（種類，課題名）の受領状況を記入してください。		

教 育 に 関 す る 抱 負

年 月 日

氏名

印

教育に関する抱負について、2 0 0 0 字程度にまとめて記入してください。

書 画 計 究 研

年 月 日

氏名

印

研究計画について、2000字程度にまとめて記入してください。